

台湾 松山高級中學校と交流しました

2026年5月19日(火)、台湾台北市より松山高級中學校の生徒26名、引率者4名が来校し、本校2学年生徒40名と交流しました。

今回の受入にともなう様々な作業は、本校生徒たち自身で企画・準備・実施しました。ウェルカムセレモニーの後、本当生徒と松山高級中學校の生徒がグループに分かれて、アイスブレイク、スライド発表など、交流活動を行いました。午後は、昨年度、青森県主催の海外フィールドワークチャレンジでオーストラリアでの調査を行ってきたグループ(デジタルガーディアンズ)がプレゼンテーションを行い、その後、グループごとに「子供のSNS利用に年齢制限を設けることについて」ディスカッションをしました。日本と台湾のSNS利用の課題について、活発に話し合われました。

国籍を超えて、共通の課題について考える貴重な機会となりました。

○活動の様子



○参加した生徒より

2026年5月19日(火)に、台湾台北市の松山高級中學校から26名の高校生が本校に訪問し、交流会を実施しました。お互いの学校や文化を紹介し合うプレゼンテーションや本校の授業・校舎案内があり、その後、両校による課題研究活動の発表が行われました。そこでは、日本と台湾の日常生活や文化における共通点や違いを見つけ、理解を深めることができました。また、本校の生徒と留学生は青森高校の食堂で昼食を共にし、交流会は和やかな雰囲気で行われました。文化発表の時間には、台湾の生徒からは母国語による合唱と日本の曲のダンスを、本校の生徒はねぶた囃子の生演奏と跳人の実演が披露されました。台湾と本校の生徒全員一緒になって「ラッセラー」の掛け声とともに跳ねました。台湾の生徒からは、「学校案内をしてもらったり、一緒に踊ったりしたのはとても素晴らしい時間で、永遠に忘れられない思い出となった」と感想をいただきました。

英語を中心として活発に交流する時間は両校の生徒にとって、非常に有意義なものとなりました。最後には別れを惜しむ声が多く聞かれました。